

編集後記

Redaktionelle Anmerkungen

『フィヒテ研究』第31号をお届けいたします。

今号は、WEB版の創刊号ということになります。それに合わせて、巻頭に大橋容一郎日本フィヒテ協会会長による「オンライン版『フィヒテ研究』の発刊に際して」を掲載いたしました。次に、いわゆるハイブリッド形式で行われた第38回日本フィヒテ協会大会シンポジウム「フィヒテとスピノザ」に関する報告(加藤泰史氏)と提題をもとにした論考(入江幸男氏、米虫正巳氏)が続きます。大会において行われたヨハネス・ブラハテンドルフ教授(テュービンゲン)による特別講演「フィヒテの『あらゆる啓示の批判の試み』(1792年)における啓示宗教の思想」の櫻井真文氏による邦訳のあと、若手研究者による研究論文を1本お読みいただくことができます。

今号より、編集に関して出版社の手を離れたため、編集委員会が原則として各論考をそれぞれ2人体制で校正いたしました。語句や引用の表記の仕方について、全体で統一を図ることは難しく、ひとつの論考内における統一を心掛けました。残念ながら、至らぬ点多々見受けられることと思います。ご助言など、いただけますと幸いです。末筆ながら、WEB版刊行にあたり、多大なサポートを行っていただいた株式会社イセブの鈴木友幸氏には、心より感謝申し上げます。

2023年9月30日

編集委員長 舟場 保之

Yasuyuki FUNABA